

ああ！黒石洞

黒石洞はお父様が約6年間生活された所です。18歳から21歳と重要な時期を過ごされました。イエス様から使命を受け継ぎ、み旨成就のためにまず生き残るという事、これが一番大事なことでした。人には言えませんでしたので祈りを重要視した時でもあります。そして祈る為には山に行くしかありませんでした。さらに生き残るために鍛錬をしたというのです。一日2食、誕生日は断食をする、暖房は使わない、狭い場所で体を鍛えて行かれました。これは全て牢屋に通ずる内容です。牢屋の環境はそのように過酷ですが、そこでも生き残ることができるよこの黒石洞で鍛錬をされました。そしてキリスト教会に通われましたが、若い青年が熱心に深く祈っている姿に多くの信者が感動しました。さらに牧師がダビデの権能をもって来られた方だと証しをしましたので、皆がお父様についていくようになりました。そうすると逆に牧師は寂しくなりその教会は分裂してしまいました。そうなればもうそこにいることが出来なくなってしまったのです。途中日本の留学を挟んでもう一度黒石洞に行かれることになりましたが、このようにみ旨をなしていくという事に対して一番深い祈りで歩まれた地であるのがここにあります。

その後、結局基盤を失い、北に行かれて興南の牢屋に入ることとなりますが、戦争によって解放されるに至りました。しかし、その戦争自体は必要のなかったものであるのです。黒石洞には戦没者を慰霊するお墓があります。1961年4月17日に再び黒石洞を訪ねられます。御聖婚してから1年後です。誉進様が生まれた後になりますが、よく目にされるとおもいますが両手を広げた写真がまさにここで実体復活宣布をされた記念のものでした。そのような中で、宣布されながら一体何を祈られたのだろうか、今回ここに行って考えてみましたし、感慨深いものがあったのです。黒石洞に行って感じて感じたことが2つあります。真の御父母様に侍ることは名誉ですが、失敗したときは人間として考えることが出来ない事があると思いました。もっと真の父母様との絆を強くして行かなければならないと思うのです。もう一つは基盤造りです。国が動くような基盤、人が増えなければならないのです。影響力を強くしていかなければならないのです。真のお父様が話されたことで実現されなかったことはありません。それができるくらい食口になっていかなければなりませんし、準備をしていかなければならないのです。そのような力をつけてVISION2020に向けていかなければならないのです。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。

2. 【50日精誠期間について】

基元節2周年を迎えるまで50日精誠期間
(2015年1月12日～3月2日)を取り組んでまいります。

3. 基元節2周年精誠訓読40日路程

基元節2周年を迎えるまでの40日間、神氏族的メシヤに対する真の父母様の願いを確認し、責任完遂の勝利的歩みを成すために出版された新しい御言で、訓読の精誠を捧ます。
期間:2015年1月22日～2015年3月2日(40日間)
条件:新刊書『祝福の絶対価値と神氏族的メシヤの責任完遂』
対象:全食口(個人)

4. 真の父母様 御来日50周年記念特別集会

日時:1月28日(水) 21:00
場所:浦和北教会
目的:真の父母様の御来日50周年を記念し、御来日当時の真の父母様の心情、そして母の国日本に対する天の願いをあらためて深く認識し、新たに出発する機会とする。
※1/30(金)の金曜祈禱会はありません。

5. 新規セミナー

日時:1月28日(水) 10:30
場所:浦和教会

6. 健康講演会

日時:1月30日(金) 10:30
場所:浦和教会

7. 代々木聖地祈禱会(浦和教会の当番の日です)

日時:1月29日(木)
場所:代々木聖地

9. 2015年2月度清平2日修練会

週	日程	帰国日	毎週1代～210代 追加先祖解怨式
1週	【2015年2月7日(土)～2月8日(日)】	2/9(月)	霊肉界家庭出発 修練会
2週	【2015年2月13日(金)～2月14日(土)】	2/15(日)	
3週	【2015年2月21日(土)～2月22日(日)】	2/23(月)	先祖祝福式

注) 4週目の【2015年1月27日(金)～1月28日(土)】の期間、修練会はありません。

【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長：李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel : 048-886-8774 / Fax : 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

日曜礼拝式次第



説教者：李 炯燮教区長

司会者：伊東哲也

伴奏者：町田滋子

開	会	司会者
黙	禱	全 体
※聖	歌 聖歌 39番	全 体
※敬	拝	全 体
※家	庭 盟 誓	全 体
※年	頭 標 語	全 体
代	表 報 告 祈 禱	樫原尚美
聖	歌	聖歌隊
み	言 訓 読	全 体
説	教	一心不乱 一生懸命	
※聖	歌と献金 聖歌 5番	全 体
※祝	禱	執礼者
※全	体 祈 禱	全 体
お	知 ら せ	司会者
閉	会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

アジアの一角、日本において、最初に詳細に説明した。あなたたちにすべてがかかっている。今からやらなければならない。今から先生は命令する。十日に一度ずつ自分の親、兄弟に手紙を出せ！ 君たちが社会に向けて活動する三分の一の努力があったら、氏族復帰は可能である。天国づくりは氏族基台を中心として、それから社会につながる十二弟子と七十二門徒である。それがなければ、社会を率いることはできない。世界的になりたければ一二〇人を立てよ。先生はそれをやってきた。日本の問題として、今残っているのは、数的問題である。もしも日本が、ある期間までやらなかった場合には、先生は日本の使命をほかに回す。世界を救うには仕方がない。そうせざるを得ない。あなたたち、考えてみなさい。一年に死亡率が百分の一だと考えて、百人に一人死ぬと考えてみた場合には、三十六億のうち、三六〇〇万は一日に死んでいく。そうした場合に三六〇〇万人は地獄に行く。神から見た場合に大損害である。サタンから見た場合、大勝利である。一年早ければ、三六〇〇万が救われる。十年早ければ三億六〇〇〇万人である。こう考えた場合に、世界にまで早くこれを宣傳伝えるのに、いかに忙しいかということが自然と分かるであろう。もう時間がない。神がいかにばかりそれを願っているだろう。

～ み旨と世界 p245～

統一運動

ラスベガス14日伝道ワークショップ閉会式

天一国二年天曆11月14日(陽曆1.4)真のお母様は天和宮で「青年達よ、立ち上がれ」というテーマで韓国の青年指導者、日本宣教師、アメリカ教会伝道チーム、米国全土から集まった食口が参加して行われた「ラスベガス14日伝道ワークショップ」の閉会式を主催された。真のお母様は「ラスベガスは全世界の人々が集まる場所であり、取りそろったすべての環境が全世界に伸びていく所です。年中コンベンション(訳者注:集会や大規模な催し)が行われます。すぐ後にも世界最大の家電展示会が予定されており、韓国でもサムスンやLGのような大企業が参加すると聞きました。多くの人々がこの場所に来て、様々な情報を得て自国に帰るといことです。これらを私達が逃してはいけません」と話され、「アメリカ教会とラスベガスの教会がさらに頑張つて、より良い結実を天に献呈すること」を願われた。真のお母様は最後に「私たちは、天曆を使用しますが、グレゴリオ暦ではすでに新年が明けました。新年は、青羊の年といひます。お母様(の干支)は羊です」と話され、「真の父母の位相をより高く、世界に顕わさなければなりません」と強調された。続けて地神パッキ(지신뱌기)という韓国民俗伝統について話されて「新年を迎えて祈りと精誠で、さらに努め、豊かな一年を迎えてください」と願われた。



2015年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2015年 活動指針

1. 訓読の伝統確立
2. 青年・学生伝道強化
3. 神氏族メシヤ責任完遂
4. 真の家庭国民運動展開